

北社会ニュースオ95号

2013年9月20日

発行者： 鈴木壮夫

(1) 9月20日(金)開催 第313回 北社会

講師：庄子 清右工門氏 (高2回)

テーマ：「アルゼンチンタンゴを楽しみましょう」

戦前から戦後にかけてアルゼンチンタンゴが楽しまれてきました。日本国民がタンゴを愛した理由は何だったのだろうか？そして、旧制二中から戦後・昭和22年の教育基本法で二高に6年間在学された庄子先輩がタンゴに引き込まれていった背景にはどんな思いがおりになったのだろうか。タンゴの音色と共に楽しみます。

(2) 10月21日(月)開催 第314回 北社会

講師：瀨上 真由氏

テーマ：「高感度にランクアップする写真とは？」

先月、「人類を幸せにする人財の育成」に専念するため、約10年に亘って世話人だった西條氏が推薦する女性です。三十路を歩み始めたばかりですが生きる力、根性は素晴らしいそうです。写真だけでなく、社会への“思い”しっかりと聞いてみたいです。

(3) 11月27日(水)開催 第315回 北社会

講師：濱田 直嗣氏 (高11回) 宮城県慶長使節船ミュージアム館長～石巻～

テーマ：「政宗の夢 常長の現(うつつ)」－仮題－

2013年10月28日は、「慶長使節」が出帆して四百年目に当たります。濱田氏は慶長使節の歴史的、文化史的な解明にこの40年ほどを費やしてきました。彼は語ります。“お国轟辰、政宗・常長自慢のそしりを覚悟して、思いっきり地元の視点を中心に話を進めたい”と。今、必要なのは未来へ向かう、希望と勇気のシンボルだと。

(4) 「北社会」 300回記念誌発行について

9月25日締切にて皆様に再度ご寄稿のお願いをしました。300回の歩み、重み、誇り、心に響き忘れられないこと、感動したこと、800字程度に纏めて下さい。北社会をここまで継続いただいた大先輩達への強い感謝の気持ちでどうぞご努力下さい。

(5) 久しぶりの二高訪問～9月12日～

今年も上杉山中の3年8組のクラス会が松島で開催され参加して、翌朝早めにホテルを出ました。坂を下っていると森の中からミ～ン、ミ～ンと蟬の鳴き声が聞こえてきました。温暖化現象でしょうか。仙石線車中には男女の高校生も多数乗車していました。制服もいろいろあるんだな～と。西公園に行き、母校・青葉城・東北大キャンパス等々を飽きもせず眺め続けていました。私の一番好きな「青春の場」です。ご連絡もせず、突然お伺いしたのに渡辺校長様にもお会いできました。今年度から2年生希望者によるハーバード・MIT見学、海外研修を実施24名が参加したそうです。文武一道の精神。頑張れ！！